



令和2年3月



# WAKE UP!! CAMPUS

アイデアとやる気で解決する学生クリエイティブチーム

～若者の力で資源分別～



# 【令和元年度事業概要】



- 東北福祉大学 講義時間を利用した環境施設見学・ごみ分別講座 115名参加  
6月中旬～7月上旬、講義時間を利用して松森工場や松森資源化センターの見学及びごみ分別講座を受講した。



グループに分かれ、一人ひとりごみと資源の分別を体験



手作業で缶・瓶の仕分けをしている作業員の様子を見学しました。

## 【受講後に実施したアンケートより コメント抜粋】

- ・缶や瓶を手作業で仕分けしている人に感謝。
- ・缶や瓶の中味をすすがないまま出していた。臭いがひどくなると分かった。きちんとすすいで出したい。
- ・ごみの分別の仕方を家族にも伝えて分別したい。
- ・もっと細かく分別できることが分かった。一人一人の気遣いで環境が良くなると思う。
- ・地元と仙台のごみ分別の仕方が違うことが分かった。
- ・今まで親にごみ分別をしてもらっていたが、一人暮らしになったことで、どうしていいか分からなかった。自分のためになった。
- ・説明を受けなければ分からないことが多い。多くの場所で説明するべきだ。

# 【令和元年度事業概要】



## ●学生プロジェクトチーム「WAKE UP CAMPUS(ワケアップキャンパス)」の活動

主に若年層に対して資源分別促進を働きかけることを目的として、学生プロジェクトチーム「WAKE UP CAMPUS(ワケアップキャンパス)」を結成。若者向けの啓発グッズをアイデアを出し合ってデザインしました。



持ち手をブランコに見立てる斬新なデザイン

紙袋は、2015年9月の国連サミットで採択された2030年に向けて世界が合意した「SDGs(持続可能な開発目標)」の中から、若者が取り組める事柄をピックアップし、紙類のリサイクルなど、同世代へ具体的な行動を促すことを目的としてデザインした。

また、紙袋として繰り返し使った後は、雑がみを集めて古紙リサイクルへ出し、資源を無駄なく使うことも提案している。



市職員や企業の方との打ち合わせの様子。  
自分たちがデザインしたものを細部までこだわって形にするために、大変な苦労があった。



完成した紙袋は、メンバーが自ら街頭で配布を行った。  
また、仙台市主催の「成人式」の会場でも、紙袋が配布された。



# 【令和元年度事業概要】



## ●エコフェスタ2019への出展(9月)

学生プロジェクトチーム「WAKE UP CAMPUS(ワケアップキャンパス)」として、アメニティ・せんだい推進協議会が9月に開催する環境イベント「エコフェスタ2019」に出展した。

未就学児から小学生を対象に「雑がみ釣り堀」や「分別クイズ」などのゲームコーナーを設け、ごみ分別を楽しく学んでもらう場を提供した。また、来場者へ「将来の仙台の環境に関する年代別アンケート調査」を実施し、246名の来場者から回答を得た。アンケートの集計結果は、今後の啓発活動の資料として活用することとした。



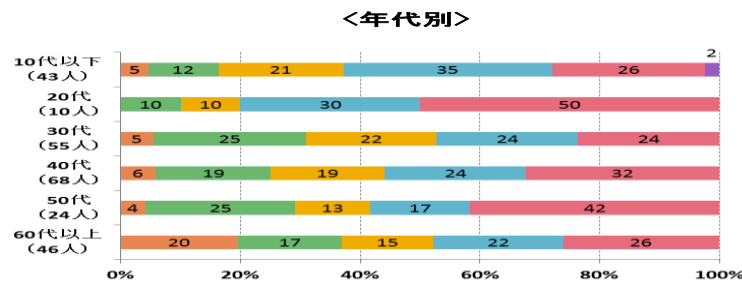
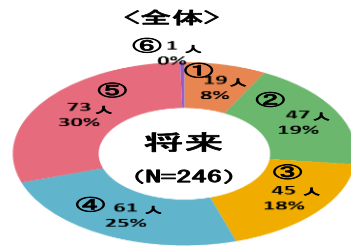
トイレトペーパーの芯で作った魚やタコを釣るゲームコーナーでは、たくさんのお子さんが楽しんだ。



「将来の環境に関するアンケート」を実施。学生が来場者ひとり一人にアンケート調査の主旨を説明し、246名から回答を得た。

### 【アンケートの集計結果】

【問1】「杜の都・仙台」は、環境面で、「将来」どんなまちになったら良いと思いますか？



- ①地球を守る取り組みに積極的なまち
- ②みどりに囲まれたまち
- ③ごみが少なく、リサイクルが進んだまち
- ④水や空気がきれいなまち
- ⑤みんなが環境のことを考えて行動するまち
- ⑥どれもあてはまらない

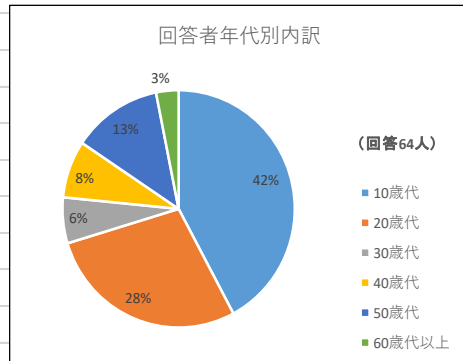
# 【令和元年度事業概要】



## ●大学祭への啓発ブースの出展(10月)

「ワケアップキャンパス」として、東北福祉大の大学祭に出展した。休憩所としてテント2張を設置し、来場者に休憩してもらうスペースを提供した。また、休憩している方向けに、ごみ減量、資源リサイクルについて啓発活動を行った。併せて、休憩テントの脇で、レジ袋の使用に関する来場者アンケートを実施し、64人から回答を得た。

### レジ袋の使用についてのアンケート調査



○ 東北福祉大学 大学祭  
大学生による資源分別プロジェクトチーム「ワケアップキャンパス」として、大学祭に出展。会場内で来場者アンケートを実施し、64人から回答を得た。10歳代・20歳代の若者層が回答者の7割を占めた。

- ・日 時：令和元年10月19日(土) 10:00~16:00
- ・回答者数：64名



### アンケートの調査結果から・・・

- ・10歳代、20歳代は「自分専用のエコバッグを持っていない」と回答した方が他の年代と比べても多い。
- ・エコバッグを所有していても、いつも持ち歩いていない傾向が高い。
- ・スーパーでは、有料レジ袋をもらわずエコバッグを使う人の割合が多いが、コンビニでは無料レジ袋をもらう人の割合が多い。
- ・もらったレジ袋は、ごみを入れて捨てるか、とりあえず貯めておく人が多く、使い捨てされていることが推測された。

